

中学校・義務教育学校後期課程

平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査の結果をふまえた指導改善策

I 調査の概要

1. 調査の目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- 上記のような取組みを通して、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2. 調査の対象

中学校第3学年及び義務教育学校第9学年の生徒

3. 調査の内容

- (1) 教科に関する調査（国語、数学、英語）
- (2) 生徒質問紙調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査

4. 調査日時

平成31年4月18日（木）

1時限目	2時限目	3時限目	3時限目終了以降	4～6時限目
国語	数学	英語 「聞くこと、 読むこと、 書くこと」 調査	生徒質問紙	英語 「話すこと」 調査

5. 調査実施学校数等

調査実施学校数	対象者数
4校	326名

Ⅱ 学力調査の結果【中学校】

1. 教科に関する調査結果（平均正答率*）

	国語	数学	英語
全国	72.8	59.8	56.0
広島県	74	60	56
府中市	72	58	54

平均正答率とは、「児童の正答数の平均」÷「設問数」の値を、%で表わしたものです。

2. 調査結果にみられる府中市の特徴

【国語】

正答率 上位2問				正答率 下位2問			
問題		市	全国	問題		市	全国
読	◇文章に表れているものの見方や考え方について、自分の考えをもつ	92.9	91.2	読	◆文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉える	58.1	61.5
書	◇書いた文章を読み返し、論の展開にふさわしい語句や文の使い方を検討する	84.8	87.4	言	◆封筒の書き方を理解して書く	58.7	56.8

学習指導要領の領域等

話聞：話すこと・聞くこと

書：書くこと

読：読むこと

言：伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

【数学】

正答率 上位2問				正答率 下位2問			
問題		市	全国	問題		市	全国
図	◇平行移動の意味を理解している	85.2	83.6	関	◆事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる	36.4	34.8
資料	◇簡単な場合について、確率を求めることができる	73.2	72.8	関	◆グラフ上の点Pのy座標と点Qのy座標の差を、事象に即して解釈することができる	38.7	58.8

学習指導要領の領域等

数：数と式：

図：図形

関：関数

資料：資料の活用

【英語】

正答率 上位2問				正答率 下位2問			
問題		市	全国	問題		市	全国
聞	◇語と語の連結による音変化をとらえて、情報を正確に聞きとることができる	91.6	91.1	書	◆与えられたテーマについて考えを整理し、文と文のつながりなどに注意してまとまりのある文章を書くことができる	0.3	1.8
聞	◇教室英語を理解して、情報を正確に聞き取ることができる	91.3	88.6	聞	◆聞いて把握した内容について、適切に応じることができる	6.4	7.6

学習指導要領の区分・内容

- 聞：聞くこと
- 話：話すこと
- 読：読むこと
- 書：書くこと

3. 今後の指導改善策

	指導改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・目的や場面に応じて話し合い、自分の考えをまとめる場を計画的に仕組んでいく。聞き取りのポイントをつかませることを反復練習し、さらに対話や討論などの言語活動の場を国語科のみならず総合的な学習の時間やあらゆる場面で活用させるようにする。 ・手紙の基本的な形式を理解し、文字の大きさや配列に注意して書く力を身に付けさせるため、書写の時間にも手紙や葉書を実際にかく学習活動を取り入れる。また、掲示物や学習ノート等、日常生活においても、意識的に書写の成果を生かすように指導する。
数学	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な問題を数学を活用して解決できるようにするために、問題解決の方法に焦点を当て、「用いるもの」と「用い方」を明確にして問題解決の方法を説明する活動を充実する。その際に、問題解決のために表した表、式、グラフをどのように用いればよいか説明し合う場面を設定し、検討する活動を充実させる。 ・各単元での技能に関するテストを継続的に行うとともに、基本的な知識や用語などの確認を徹底して行う。
英語	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマについて考えを整理し、文と文のつながりなどに注意してまとまりのある文章を書くことができるようにする。そのために、ペアでやり取りして話したことを書いたり、読んだことについて感想や意見などを書いたりするなど複数の領域を統合させて書く内容を増やしたりまとめさせたりする活動を取り入れる。 ・話し手からの依頼、提案などを聞き、それを基にして書くという力をつけるためには、まず、様々な場面設定で話し手の意図をとらえられるよう繰り返し聞く練習を行う。また、適切な表現で応答できるよう、基本的文法事項や文構造を意識した書く指導も並行して行っていく。

Ⅲ 学習状況調査（生徒質問紙）の結果

1. 肯定的な回答の割合が、全国平均を上回っている設問（上位2問）

(%)

質問項目	府中市	全国	差
◇今住んでいる地域の行事に参加していますか	69.3	50.6	+18.7
◇地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	55.2	39.4	+15.8

2. 全国平均と比較して課題の項目（下位 2問）

(%)

質問項目	府中市	全国	差
◆読書は好きですか	62.9	68.0	-5.1
◆あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると思いますか	69.6	71.6	-2.0